

【本資料について】

- ・本資料は、弊社発行の令和6年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈104～604〉」に基づいて作成しています。

【「題材の目標」について】

- ・各学年の題材の目標は、学習指導要領（平成29年告示）に示されている、育成を目指す資質・能力の三つの柱、

- (1) 「知識及び技能」の習得に関する目標
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標

の視点に基づいて作成しています。

- (1) について、文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を、後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【「扱い月の目安」について】

- ・本資料で示されている扱いは目安となります。3学期制と2学期制それぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される学期や月を調整のうえ、ご活用ください。

【「扱い時数」について】

- ・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています（中学年は巻頭・巻末教材を除く）。
- ・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。
- ・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【「学習指導要領の内容との関連」について】

- ・弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において、各題材は、「何を中心に学習し、どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材を配列しています。
- ・「A表現」(1)歌唱、(2)器楽、(3)音楽づくりのA、イ、ウの各事項、「B鑑賞」のA、イの指導事項は、各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり、ときに往還し関連しながら、指導できるように配慮しています。
- ・学期ごとや1年間を通して、各観点がバランスよく位置付けられ、題材間の関連が図られているか、という視点にも配慮しています。
- ・それらを踏まえ、【評価に関わる】指導事項を◎で記し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を○で記しています。
- ・〔共通事項〕に示している音楽を形づくっている要素において**太字**で記しているものは、題材内で中心となる要素を示しています。

第5学年 年間学習指導計画作成資料						学習指導要領の内容との関連 (ア：思考力、判断力、表現力等 イ：知識 ウ：技能 に関する資質・能力)													
【第5学年及び第6学年 目標】 (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。						A表現									B鑑賞		【共通事項】		
扱い月の目安	扱い時数 合計 50	題材名	題材の目標 (1)「知識及び技能」の習得 (2)「思考力、判断力、表現力等」の育成 (3)「学びに向かう力、人間性等」の涵養	学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	歌唱			器楽			音楽づくり			鑑賞		ア 音楽を形づくっている要素 イ 音符、休符、記号や用語		
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ			
年間	2	巻頭		音楽と社会をつなぐテクノロジー															
		心をつなぐ歌声		年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための教材。	○ Believe	○	○	○	○	○									
4	4	4 1. 歌声をひびかせて心をつなげよう	(1)曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。	・曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。	○すてきな一歩	◎	◎	◎	◎	◎									
				・曲の特徴を生かして、明るい声で歌いましょう。	(共)こいのぼり	◎	◎	◎	○										音色 リズム 旋律 強弱
5	5	5 2. 音の重なりを感じ取ろう	(1)曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、節奏を聴いたり、イ短調の楽譜を見たりして演奏する技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌声や楽器の音が重なり合う響きを、感じ取りながら表現したり味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる音の重なり親しむ。	・リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏しましょう。	◇小さな約束					◎	◎	○	◎	◎	◎				
6	6			・歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。	○いつでもあの海は	◎	◎	○	◎										音色 旋律 音の重なり 音階 調 音楽の縦と横との関係
				・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章												◎	◎	
				・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	♪愛のあいさつ から (参考曲)											○	○		
7	7	8 3. いろいろな音のひびきを味わおう	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関らせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)いろいろな楽器の音色やそれらの重なりをよさを味わいながら表現したり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。	・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながら演奏しましょう。	◇リボンのおどり(ラ バンバ)					◎	◎	◎	◎	◎	◎				
				・オーケストラのひびきに親しみましょう。	♪祝典序曲												◎	◎	音色 リズム 旋律 音の重なり 音の重なり 反復 呼びかけとこたえ 変化
				・打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。	♪アフリカン シンフォニー(参考曲)												○	○	アクセント へ音記号
					☆打楽器でリズムアンサンブル											◎	◎	◎	◎

